

姫路ライフ・デジタル戦略 [Ver. 1.2]

The Strategy of Himeji-Life with Digital



令和 4 年 (2022 年) 5 月 姫路市

政策局 デジタル情報室

TEL : 079-221-2393

Mail : seisaku-digital@city.himeji.lg.jp



1 戦略策定の背景と意義

[P. 3]

2 戦略の概要

[P. 4]

- | | |
|--------------|----------------|
| (1) 位置付け | (2) 目的 |
| (3) 目指すべき将来像 | (4) 課題解決型の短期戦略 |
| (5) 推進方策 | (6) 推進体制 |

3 課題解決型短期施策（タスク）の実施モデル

[P. 10]

4 庁内のデジタル人材の育成・確保

[P. 11]

5 姫路版スマートシティ事業の実施に向けた連携

[P. 12]

A light blue outline map of Miyazaki Prefecture is centered within a large, faint blue circle. A dark blue horizontal bar with white text is overlaid across the middle of the map. The text reads 'Miyazaki Life Digital Strategy [Ver. 1.2]'. The characters 'Main Edition' are written in black on the map, positioned below the blue bar and above the islands of the Ryukyu archipelago.

姫路ライフ・デジタル戦略 [Ver. 1.2]

本編

1 戦略策定の背景と意義

背景

- ▶ 令和22年（2040年）頃に本格的に到来する人口減少社会を見据え、必要な行政サービスを維持しつつ、新たに求められるニーズに対応していくため、デジタル技術を有効に活用すべき。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の対応において明らかとなったデジタル化の遅れに対する迅速な対応が求められている。

国の動向 〔R2/12〕

- ▶ デジタル社会の将来像、IT基本法の見直しの考え方及びデジタル庁の設置の考え方等に関する国の方針である「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を策定
- ▶ 基本方針を踏まえ、「デジタル・ガバメント実行計画」を改定し、マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤の抜本的な改善に向けた取組を進める国・地方デジタル化指針を盛り込む。
- ▶ デジタル・ガバメント実行計画における自治体関連の各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した「自治体DX推進計画」を策定

本市の 状況

- ▶ 本市における官民データ活用及びICTの推進に関する取組方針について定める「姫路市官民データ活用推進計画」（令和2年度～4年度）に基づき、デジタル化を進めてきたが、スピーディーな変革が求められている。

「姫路市官民データ活用推進計画」の推進力を高める戦略を策定し、デジタル化を加速

2 戦略の概要 - (1) 位置づけ

- ▶ この戦略は、本市の最上位計画である姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」に掲げるビジョン（構想）及びミッション（目指す都市像を実現するための行動計画）に基づき、デジタル化の加速を図るもの

ビジョン〔構想〕

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」基本構想

R3年度 → R12年度

- ▶ 姫路市全体で共有するまちづくりの指針
- ▶ 目指す都市像「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」

ミッション〔目指す都市像を実現するための行動計画〕

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」実施計画

R3 → R5

R6 → R8

R9 → R11

R12

- ▶ 基本構想で示すまちづくりの方向性に基づき、市が取り組む具体的な事業を効果的かつ着実に進めるための行動計画

デジタル分野の理念・基本方針

姫路市官民データ活用推進計画

デジタル分野の戦略

姫路ライフ・デジタル戦略



タスクフォースの提案



各局のデジタル事業

① 本市全体のデジタル化及びDXの戦略的な推進

- ▶ デジタル化・DXに係る本市の現状と課題、これまでの取組の成果などを踏まえ、姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」の最終年度である令和12年度（2030年度）における姫路市の姿を示し、その実現に向けて、デジタル施策を戦略的に推進する。
- ▶ 市長をトップに全局長を構成員とする姫路市デジタル戦略本部を設置し、同本部において、デジタル化の重点取組分野や課題解決型の短期戦略（タスク）等についての方針を決定する。
- ▶ デジタル戦略タスクフォースを設置し、本部指示に基づき、デジタルによる課題解決を実行する。

② 令和12年度（2030年度）に向けた事業の企画・立案及び推進

- ▶ 優先的・重点的に、短期・中期の課題解決を積み上げる。 → **課題解決型の短期戦略**
- ▶ 令和12年度（2030年度）の姿の実現に向け、象徴となる事業に取り組む。 → **姫路版スマートシティ事業**
- ▶ その他の事業についても、適宜、課題を見定め、必要な対策を講じる。

③ デジタル化及びDXに向けた本市職員の意識改革の推進

- ▶ 全庁的なデジタル化及びDXを推進するため、専門的知見を有する外部人材をデジタル・マネージャーとして招聘し、事業担当部局に対する支援、助言等を行うとともに、職員の意識変革を促す。
- ▶ 政策局と総務局の連携により、階層別研修等において、デジタル化及びDXに関する研修を実施する。

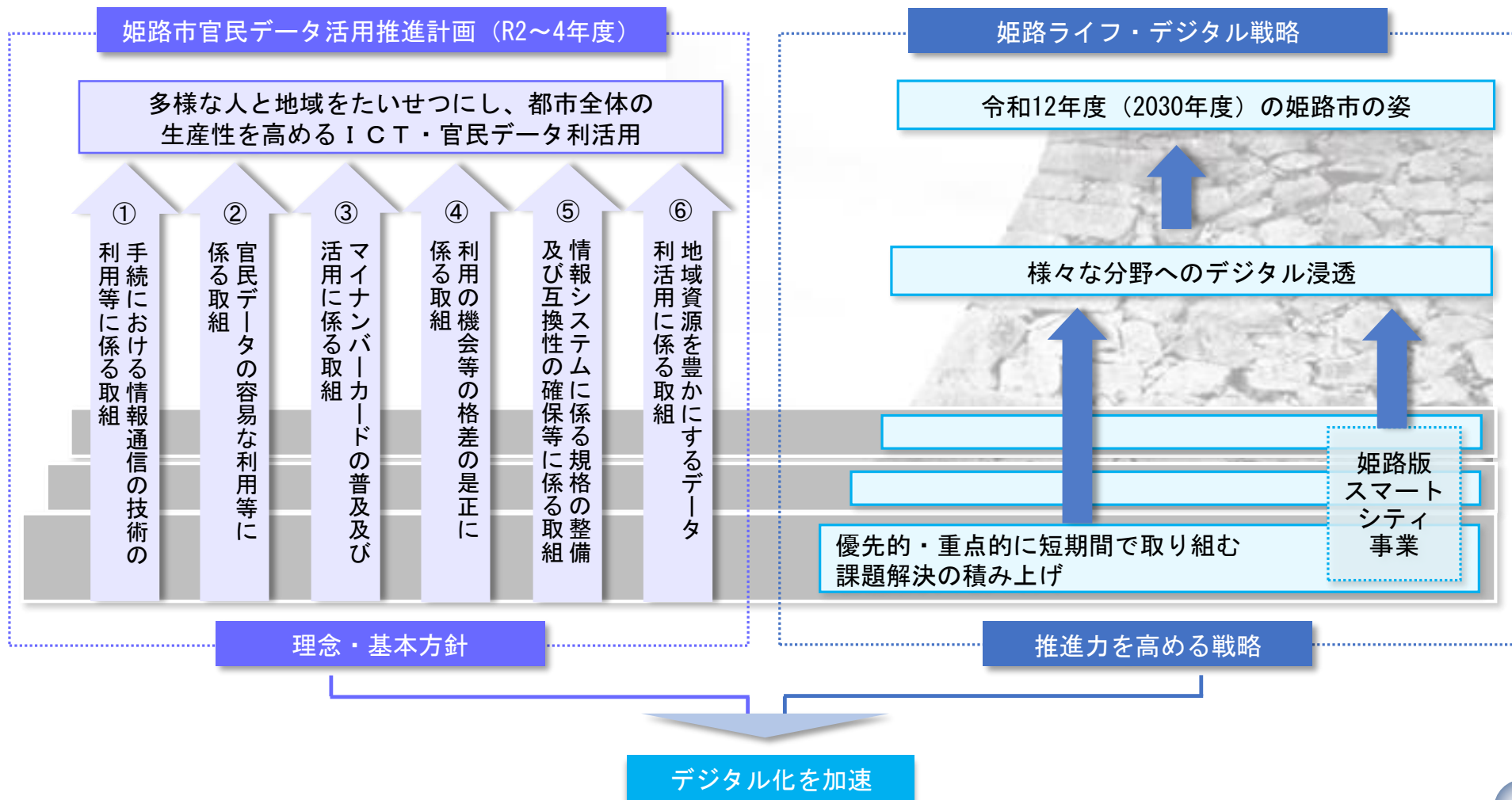
- ▶ 本戦略を駆使することで目指すべき令和12年度（2030年度）の本市の姿（将来像）を提示

令和12年度（2030年度）の姫路市の姿

本格的な人口減少社会の到来や、新型コロナウイルス感染症の教訓を踏まえた新しい生活様式への対応など、現実空間が「疎」となっていく中、デジタル技術がまちづくりや生活の様々な場面に浸透し、多様な主体間の連携・交流が「密」になり、誰もがぐらし（ライフ）に満足し、自分らしい生活を送っている。



- ▶ 令和12年度（2030年度）の姿（将来像）を実現するための強固な土台の構築（様々な分野へのデジタルの浸透）に向けて、「姫路市官民データ活用推進計画」の取組方針に基づき、短期的・中期的な課題解決を積み上げ
- ▶ その過程で、将来像の実現に向けて象徴となる事業（姫路版スマートシティ事業）を見定め、実施



2 戦略の概要 – (5) 推進方策

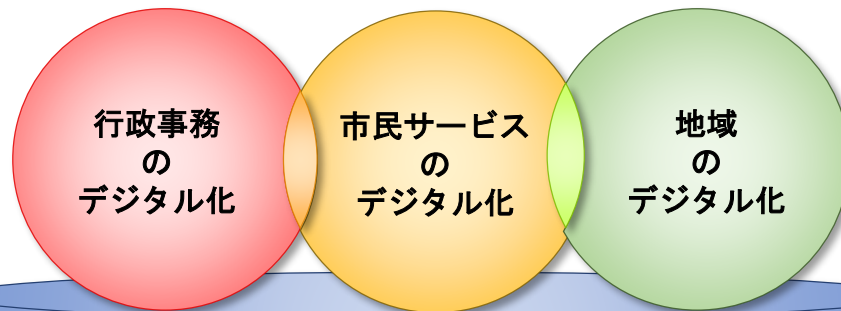
- ▶ 「行政事務」「市民サービス」及び「地域」の3つの視点から、課題解決に向けた取組、モニタリングと評価を積み上げるスパイラル・アップ型のデジタル化を推進
- ▶ デジタル化の素地として、庁内のデジタル人材育成と意識改革に取り組むとともに、市民のデジタル・ディバイド対策を進め、あらゆる人・分野にデジタル化を展開

推進方策 ①

3つの視点ごとに、課題解決に特化したタスクフォース（TF）を設置

- ▶ 各視点におけるデジタル化の分野から課題を絞り込み〔1TF当たり2課題程度〕
- ▶ 目的・取組方針・対応期限の明確化〔工程の提示、所要経費の作成〕
- ▶ 人的資源・財源の集中投下、組織横断的な取組〔適正な職員配置、補助金等の活用、関係部局間の連携〕

3つの視点



庁内のデジタル人材育成、意識改革
市民のデジタル・ディバイド対策

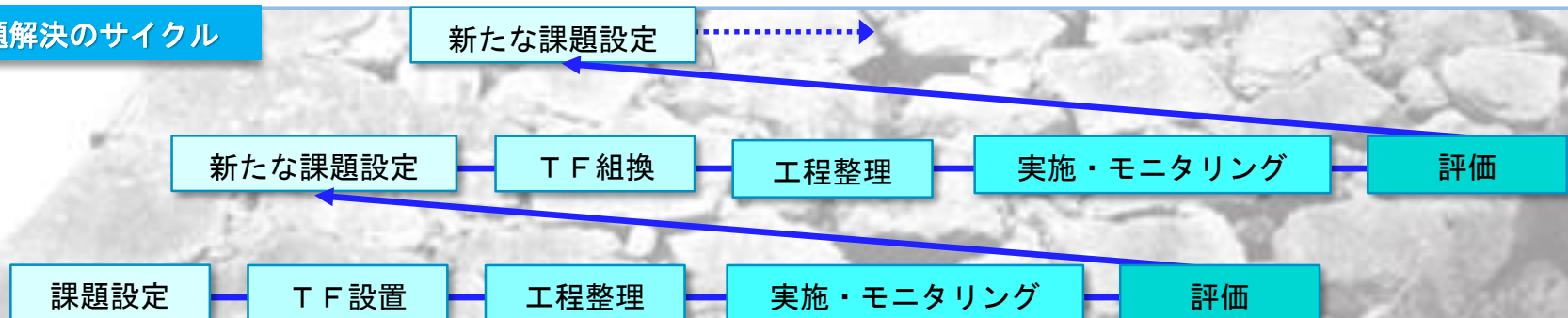
姫路版スマートシティ事業への展開

推進方策 ②

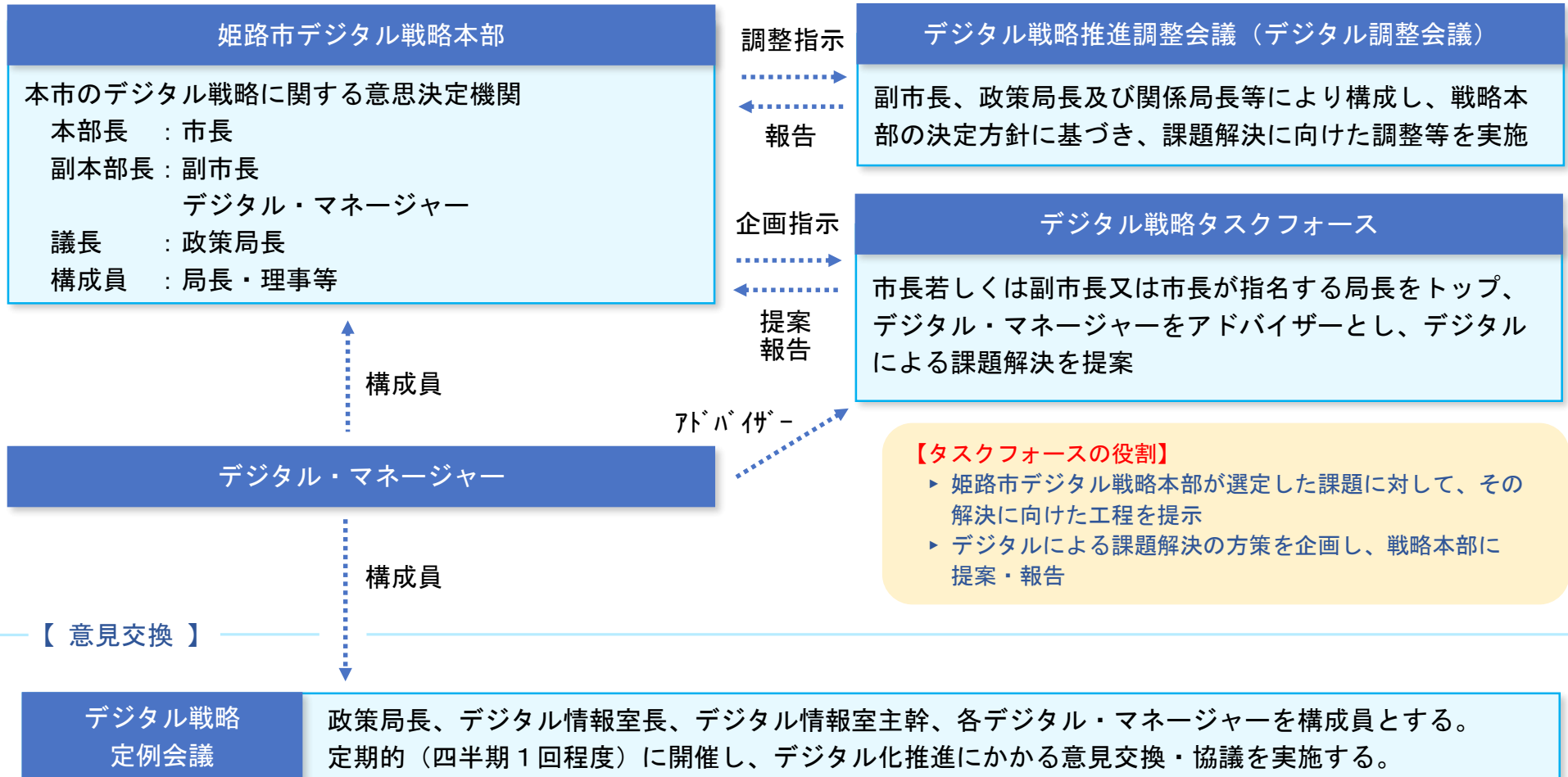
外部有識者の知見を活用

- ▶ デジタル・マネージャーの支援〔工程検討等の支援、進捗評価 等〕
- ▶ 姫路市官民データ活用推進会議からの意見聴取

課題解決のサイクル



- ▶ 市長を本部長とする姫路市デジタル戦略本部の指示のもと、調整又は提案を行う機関と、日常的な意見交換を行う場をそれぞれ設け、デジタル化の実効性を確保



3 課題解決型短期施策（タスク）の実施モデル

- ▶ ヒアリング等により抽出した課題を難易度と創出価値に基づき絞り込み、デジタル化の分野ごとに、タスクフォースの取組を選定

各局へのヒアリング等による課題の抽出

難易度と創出価値に基づき、課題を優先順位付け

■ 難易度	
①	解決すべき課題の重さ
②	複数部署・利害関係者等との調整
③	当該事業の業務量

■ 創出価値	
①	他事業への応用・展開の可能性
②	行政経費の節減効果
③	市民・市内企業へのインパクト

デジタル化の分野ごとに、タスクフォースの取組を選定

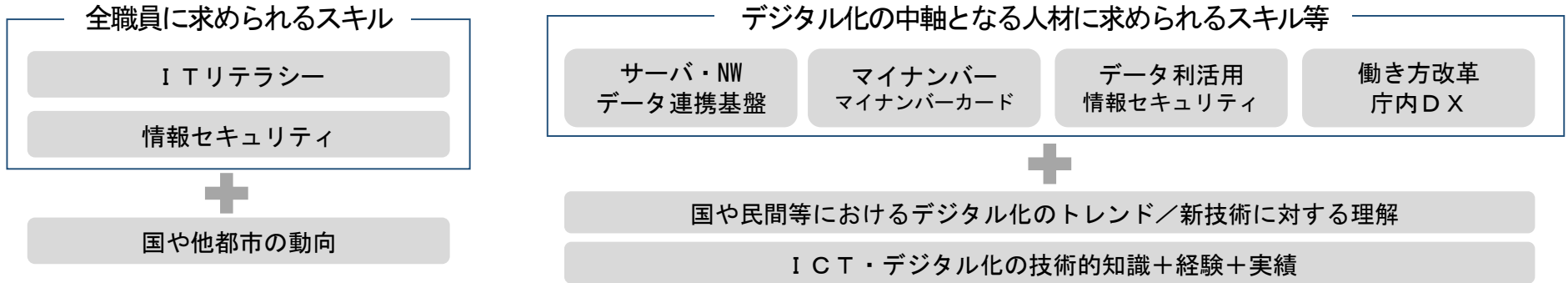
視点	デジタル化の分野	
行政事務	ワークスタイル改革	市役所のワークスタイル改革を加速させる分野
市民サービス	D Xによる市民サービスの質向上	市役所のD Xの取組により、市民サービスの質を向上させる分野
地域	地域社会デジタル化	デジタル技術やデータの利活用により、地域の価値と魅力の向上を図る分野

実施・モニタリング

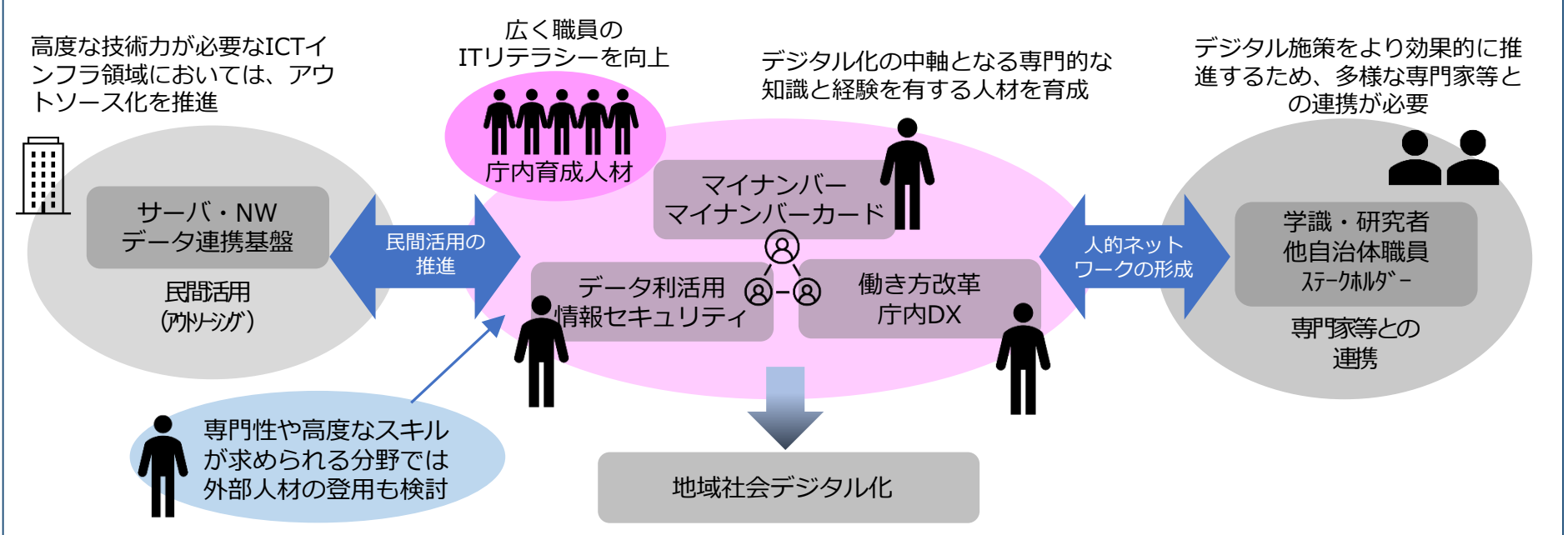
評価

4 庁内のデジタル人材の育成・確保

- 国の「自治体DX全体手順書」（令和3年7月・総務省）や、本市の「官民データ活用推進計画」（令和2年7月）を踏まえ、中長期的な視点に立って、民間活用や民間連携を図りながら、本市に適したデジタル人材の育成・確保に取り組む必要がある。



デジタル人材育成・確保のイメージ



- ▶ 企業や各種団体等を巻き込んだ課題解決の積み上げを進めながら、姫路版スマートシティ事業の実現を目指す。

① 自治体、企業、各種団体等の連携

- ▶ 企業、各種団体等を巻き込んだ連携の輪づくりに取り組む。

② 実現の方向性

- ▶ 自治体、企業、各種団体等が連携し、知恵を出し合いながら、課題解決のための実証実験等を実施することにより、本市スマートシティ事業や企業等の新たな事業展開に繋がる事業の実現を目指す。

